

## 新発田市 令和6年度 第7回定例記者会見

- 1 日 時 令和6年10月2日(水)午前11時～
- 2 場 所 ヨリネスしばた501会議室
- 3 内 容

### 【市長発表項目】

○映画「十一人の賊軍」特別上映会・新発田城ライトアップの実施

○「華道家 假屋崎省吾の世界展 in 蔵春閣」開催

○海外から初となる新発田市観光アンバサダーの任命

○「シバタいちじくフェア 2024」開催

○新発田まちなかハロウィンパーク開催！！

○新発田食探訪「あやめ城下町・おごっつおう祭り」開催

○「虹児の花嫁人形展」・第25回全国「花嫁人形」合唱コンクール開催

○拉致問題啓発舞台劇「めぐみへの誓い-奪還-」公演

### 【その他】

- 新発田市総合防災訓練の実施
- 新発田城跡発掘調査現地説明会
- 新発田市指定文化財で part2 障子貼講習会
- 三笑亭夢丸 落語会
- 石井仁蔵さんのトークイベント開催
- サトシンさんによる絵本ライブ開催
- 一箱古本市をイクネスしばたで初開催
- 環境エコカーニバルの開催
- 秋季企画展「国郡絵図の世界」
- 健康アップセミナーの開催
- ウォーキングチームチャレンジ第2弾
- 伝統芸能のつどい
- 新発田市美術展覧会と市ジュニア展一次展の開催

## あいさつ

○自民党の総裁選が終わり、やっと静かになったと思った途端、今度は衆議院の解散ということでまた慌ただしい世相になりました。新たに石破さんが総理になりました。石破さんは今回5回目の挑戦で、雨だれ石を穿つではありませんが、ひたすら総理になりたいとがんばってきて、今回見事に花開いたということになるわけでありませぬ。特に期待したいのは、石破さんのスローガンの一つに「守る」があり、その「守る」の一つに地方を守るとあります。地方は国の基だと私は思っていますので、その意味ではしっかりと地方を支えることが、実は国を支えることに繋がると私は思っております。そのスローガン通りの戦略をやっていただきたいというのが一つと、もう一つは「守る」の中の一つに国を守るもあります。国を守るというのは、国の主権を守るということと同義語だと思っております。適切な例えになるか分かりませんが、ロシアの侵攻に対してウクライナの皆さんは精一杯の抵抗をしています。これは土地のやり取りというよりは、むしろウクライナの主権が侵され、そのウクライナの主権を守るために、尊い命をかけて戦ってでも国を守ろうとしているのだと思っております。そう考えますと、新潟県は拉致の問題があります。これは完全に主権が脅かされたということのほかにはありません。新総理には、国の主権を守るという意味で、拉致問題の解決にしっかりと取り組んでいただきたいと思っております。

それでは、会見項目を説明いたします。

はじめに、映画「十一人の賊軍」特別上映会・新発田城ライトアップの実施についてです。

○いよいよ来月の 1 日から、明治元年の新発田を舞台にした映画「十一人の賊軍」が全国で公開を迎えます。この公開を記念して、新発田市民文化会館を会場に、特別上映会を行うほか、新発田城のライトアップを実施いたします。

○映画には、当市出身の木竜麻生さんが出演するほか、現在メディアで活躍する豪華なキャストが出演します。内容はフィクションではありますが、戊辰戦争下の新発田藩の姿が生々しく描かれているエンターテインメント作品に仕上がっています。

○映画を通して、これほど「新発田」が叫ばれることもなく、新発田を PR する絶好の機会であるため、首都圏の映画館で新発田市のプロモーション動画を放映するほか、SNS によるハッシュタグキャンペーンや、オリジナルポスターの制作などを行う予定としています。今回の上映会も、東映との連携によるものであり、まずはこの機会に、多くの市民の皆様にご覧いただきたいと思います。

○また、佐渡の世界遺産登録を記念し、先月まで行った新発田城のライトアップですが、今回の映画公開に合わせ、撮影場所にもなった新発田城を<sup>こがねいろ</sup>黄金色にライトアップし、映画とともに市内外に「新発田」の魅力を発信してまいります。

**次に、「華道家 假屋崎省吾の世界展 in 蔵春閣」開催についてです。**

- 今年3月に「国登録有形文化財」に登録された蔵春閣で、華道歴40周年を迎えた假屋崎省吾さんによる華道展を開催します。
- テレビ番組への出演などで、高い知名度を誇る假屋崎さんは、国内はもちろん、世界各国で個展やデモンストレーションを行っております。
- このたび、假屋崎さんが歴史的建築物と花をコラボレートした個展を企画し、その会場候補地を新潟県内で探しているというお話をお聞きしたことから、開館1周年を迎え、新発田の新たな観光ランドマークとして定着してきた蔵春閣での開催を呼びかけたところ、快諾をいただき実現に至ったものであります。
- 開催期間は11月7日（木）から17日（日）までとなり、期間中は假屋崎さんによる「いけばなデモンストレーション」も行われます。また、報道関係者を対象とした内覧会やオープニングセレモニーの開催も予定しております。
- この華道展を通して、多くの方に蔵春閣にお越しいただき、さらに周辺の観光スポットにも足を運んでいただくことで、中心市街地の賑わい創出につながることを期待しております。
- 著名な華道家の作品が展示される貴重な機会ですので、絢爛豪華な空間に映える芸術的な作品の数々を、ぜひご覧いただきたいと思っております。

**次に、海外から初となる新発田市観光アンバサダーの任命についてです。**

- 当市の観光アンバサダーは、新発田市の出身、または市にゆかりがあり、市に深い理解と愛着を持つ方に務めていただいております。現在は 4 名の日本人の方を任命しておりますが、この度、初めて海外、台湾の方を任命いたします。
- 就任いただく李日東氏は、台湾の飲食店グループの経営者であり、台湾フランチャイズ協会の名誉会長でもあるなど、台湾で非常に影響力のある方です。
- 同氏には 2019 年と昨年に、台湾の企業経営者グループを引き連れて当市を訪れ、市内事業者との交流や観光を楽しんでいただいております。今年も 10 月 11 日から約 40 名が来市し、月岡温泉に宿泊のうえ、当市の観光や、当市に本社を構える株式会社ハードオフコーポレーションの店舗見学などを予定しております。
- 同氏のグループは、台北市で新たに旅行会社を立ち上げるなど、本業の飲食店の運営以外にも積極的に多角化に取り組まれており、今後更なる事業拡大が期待されます。
- 当市における台湾からのインバウンドは、航空券の販売を担うキーエージェントの変更もあり、残念ながらコロナ禍前に比べて激減しております。
- 同氏には、インバウンド観光客の誘致のみならず、市内事業者との新しいビジネスにつながるよう、任命後も当市との交流を継続し、台湾で当市の魅力及び観光情報を PR していただきたいと思っております。

## 次に、「シバタいちじくフェア 2024」開催についてです。

- 新発田が誇るいちじくの季節がやってきました。いちじくの中でも、当市で生産される「蓬萊柿<sup>ほうらいし</sup>」は果肉が柔らかく傷みやすい特徴から広く流通はしていませんが、風味と甘味が強い特徴を持ち、昔から多くの菓子店舗でお菓子が作られています。
- 「シバタいちじくフェア」は4年目を迎えますが、この時期ならではの味覚を求め、市内の直売所をはじめとして新発田産いちじくが一時品薄状態になるほどであります。みなさまには、ぜひ、新発田自慢のいちじくをご堪能いただき、幸せなひと時を過ごしていただければと思います。
- 今年度は、毎年開催を楽しみにされているリピーターのみなさまの要望にお応えすべく、体験型コンテンツを充実いたしました。
- 生産者では、アサカ農園さんが収穫体験を実施いたします。また、新発田ガスさんが毎月実施している料理教室では、いちじくを使った料理をテーマにします。さらに蔵春閣では、入館者へ月替わりのスイーツを提供するカフェプランでいちじくスイーツが登場します。
- また、蔵春閣を会場とした、ジャズライブといちじくスイーツを楽しむイベントも開催予定であり、食べるだけでなく、五感に訴える多くのコンテンツを通じて新発田のいちじくを御堪能いただきたいと思っております。

## 次に、新発田まちなかハロウィンパーク開催についてです。

- 毎年 1,000 人を超える子どもたちが参加する大人気のイベント「新発田まちなかハロウィンパーク」を10月26日、27日の2日間、札の辻広場や中心商店街で開催いたします。
- 小学生以下のお子さんを対象に、「お菓子パスポート」を持って商店街の参加店舗を巡りながら、「トリック・オア・トリート」の合言葉を唱えてお菓子をもらいます。
- これまで、多くの方で受付が大変混雑し、御迷惑をおかけしたことから、今年は新たな試みとして、「お菓子パスポート」配布を電子申請による事前申込制としました。当日配布分もありますが、事前に申し込むことで、小さなお子さんにも負担なくスムーズに御参加いただけると思います。
- また、札の辻広場では、飲食店や雑貨店など、バラエティー豊かなお店が多数出店する「ハロウィンお楽しみ広場」、スマートフォンを使用してクイズを解いて街歩きをする「デジタルスタンプラリー」、さらに今年は新たにリアル謎解きゲームの開催など、多種多様なイベントとなっております。
- そして、会場の各所に大型ハロウィンパネルが多数設置されますのでフォトスポットとしてもお楽しみいただけます。
- お子様連れでなくとも十分に楽しめるイベントとなっておりますので、今年も仮装でまちなかを大いに盛り上げていただきたいと思います。

**次に、新発田食探訪「あやめ城下町・おごつつおう祭り」開催についてです。**

○新発田の美味しい「旬の食材と料理の技」をテーマに、共通の地場産食材を用いて、秋の味覚にふさわしい料理を提供する「あやめ城下町・おごつつおう祭り」が今年で20周年を迎えます。市内の割烹・料理店8店舗が今年も10月1日から31日までの1か月間、その腕を振ります。

○今年の共通食材は、美味しい新発田産米の稲わらで育った「新発田牛」です。美しい霜降りで肉質が柔らかく、脂質の融点が低い口の中に入れた瞬間、脂が溶け出す極上の新発田牛を、参加店の各料理人が趣向を凝らした一品として御提供します。

○また、今年は開催20周年を記念した特別企画として、開催期間中に各店舗へご来店いただいた方から抽選で、参加店の各料理人の技術の粋を結集した特別会席を、蔵春閣を会場に月岡芸妓の舞を楽しみながら味わえる、「プレミアム会席」が当たります。

○この機会に新発田が誇る「秋のおごつつおう」をぜひお楽しみください。

**次に、「虹児の花嫁人形展」及び第 25 回全国「花嫁人形」合唱コンクール開催についてです。**

- 唱歌「花嫁人形」が落谷虹児によって作詞・発表されて、今年で 100 年を迎えます。
- その唱歌「花嫁人形」を課題曲とする全国「花嫁人形」合唱コンクールも今年で 25 回大会を迎え、全国から合唱団 20 団体約 300 名もの方が全国から当市を訪れ、美しい歌声を響かせてください。
- 合唱コンクール当日は、作詞発表 100 年特別企画として、今もなお歌碑がホテルの傍に建つイタリア軒から特別協賛をいただき、イタリア軒賞が新設されます。さらに、市内の中学生による合唱発表や会場である市民文化会館前で野点席<sup>のだて</sup>が催されるなど、大会を盛り上げるさまざまなイベントを実施する予定です。
- また、隣接する落谷虹児記念館でも、作詩発表 100 周年を記念し、「虹児の花嫁人形展～悠久の花嫁衣裳とともに～」と題して、「花嫁人形」にちなんだ貴重な作品や未発表の原画、花嫁衣裳などを企画展示します。
- 10 月 13 日(日)は、落谷虹児記念館を無料開放いたしますので、合唱コンクールと併せて多くの方に御来場いただき、唱歌「花嫁人形」と落谷虹児に親しんでいただきたいと思います。

## 最後に、拉致問題啓発舞台劇「めぐみへの誓い-奪還-」公演についてです。

- 拉致問題の認識を深め、理解を広げるために、国・県との共催により、拉致問題啓発舞台劇「めぐみへの誓い～<sup>だっかん</sup>奪還～」の公演を開催します。
- この舞台劇は、横田めぐみさんが北朝鮮に拉致されるまでの経緯やその後について描いた作品で、新発田市を皮切りに、全国 8 か所で公演を予定しております。
- 横田めぐみさんの拉致から 47 年が経とうとしていますが、その安否は未だ不明であり、月日の経過とともに、拉致被害者や御家族も年齢を重ねられ、一刻も早い解決が求められております。
- 拉致問題の進展には、国民一人一人が、この問題を自分の事として捉え、声を上げていく必要があります。当市では、パネル展や署名活動、ブルーリボンの着用など、市民や職員に向けた意識啓発を行っておりますが、若い世代への周知、啓発が重要と考え、この度、市内全中学校の 3 年生 740 名を対象に舞台劇の公演を行う運びとなりました。
- 舞台劇を通して、中学生が拉致被害の現状を知り、自分達と同じ年頃に、この新潟で拉致された横田めぐみさんとその家族に思いを馳せることで、この問題に関心を持ち、理解の輪が広がることで、一日も早い解決につながることを願っております。

本日お知らせする情報は以上になりますが、他にもお配りした資料のとおりイベントなどを予定しております。

報道各社の皆様におかれましては、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田市をご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。